

LCIF 交付金早わかり

交付金名	基本情報		審査と提出期限	
	申請可能額		申請資格	
1.人道支援 マッチング 交付金	資本建設や設備等の大規模事業(事業期間最長2年)少なくとも2クラブ以上の財政/事業への関与を必要とし、申請/継続件数は2件まで		LCIF理事会による審査・承認提出期限:5月1日(8月理事会審査)、10月1日(1月理事会審査)、2月1日(5月理事会審査)	
	1~15万ドル		地区 複合地区	
2.災害援助交付金				
①緊急援助 交付金	ライオンズが直接行う災害直後のニーズを満たす緊急支援(100人以上の被災者支援、原則自然災害のみ)使用は受給後30日以内		申請は必ず特設のEメールアドレス LCIFemergencygrants@lionsclubs.orgへ。LCIF理事長が承認(通常申請後48時間以内)提出期限:発災30日以内	
	5千~1万ドル		地区 災害につき申請1回	
②地域復興 交付金	緊急支援以外の短期の災害援助事業(がれき除去や清掃など)使用は受給後60日以内地域復興交付金が緊急援助交付金のいずれかを選択。両方申請不可		LCIF理事長が承認 発災60日以内	
	2万ドルまで 年総額25万ドルまで		地区	
③防災準備 交付金	災害に備えて準備するための事業		LCIF理事長が承認 発災60日以内	
	5千~1万5千ドル 年総額25万ドルまで		地区 2年に1度申請可能	
④大災害援助交付金 (MCAT)及び 指定災害援助交付金	大規模災害		ライオンズクラブ国際協会会長とLCIF理事長の判断で交付	
	5万ドル~災害の規模に応じて年総額100万ドルまで		申請ベースではない	
3.視力ファースト 交付金	失明対策・ロービジョンなど地域の問題を包括的に改善する大規模事業 行政等のサービスが行き届かない人々が対象		視力ファースト諮問委員会が審査し、LCIF理事会が承認 窓口:SightFirst@lionsclubs.org 事前にテクニカルアドバイザーによる調査等を要する	
	事業内容による(30万ドルまで)		地区 複合地区 複数の複合地区	
4.ライオンズクエスト交付金				
①プログラム拡大交付金	クエストプログラム実施地域を拡大するためのワークショップの実施		ライオンズクエストワーキンググループで審議後、LCIF理事会が承認 提出期限:マッチング交付金と同じ	
	地区:5万ドル 複合地区:15万ドル		地区 複合地区 1度に1件まで	
②普及促進交付金	クエストプログラムを新たに検討する地域等での説明会などが対象		LCIF理事長が承認 発災60日以内	
	1,500ドル		地区(年1件)複合地区(年2件)	
③地域パートナーシップ 交付金	クエストプログラムを初めて行う地区・もしくは長期的に休止しており、再開する地区での新たなパートナーシップ構築等のための交付金		LCIF理事長が承認 発災60日以内	
	15,000ドルが上限		地区(年1件)複合地区(年2件)	
5.レオ奉仕 交付金	レオの企画実施する奉仕事業を支援 6か月以内に事業を完了する必要がある		LCIF理事長が承認 発災60日以内	
	地区:2,500ドルまで 複合地区:5,000ドルまで 最低1500ドル		ライオンズの地区・複合地区 ※レオによる申請は不可	
6.糖尿病 交付金	糖尿病の認識、予防、管理向上事業 最低2クラブの財政/事業支援が必要 申請/継続件数:地区2件、複合地区1件まで		LCIF理事会が審査・承認 提出期限:マッチング交付金と同じ	
	地区:1~15万ドル 複合地区:1~25万ドル		地区 複合地区	
7.食料支援 交付金	食料倉庫、フードバンクや給食センター等の大規模事業		LCIF理事会が審査・承認 提出期限:マッチング交付金と同じ	
	地区:1~10万ドル		地区 1度に1件	
8.小児がん 交付金	治療を受ける子どもと家族の支援を目的とする医療施設拡充などの大規模事業		LCIF理事会が審査・承認 提出期限:マッチング交付金と同じ	
	1~15万ドル		地区 複合地区	
9.地区及び クラブシェアリング交付金	ライオンズの人道奉仕事業の強化を支援		LCIF理事長が承認 発災60日以内	
	前年度奉仕に力を基金寄付金額の15%		クラブまたは地区	

LCIF 交付金比較表

1.人道支援マッチング交付金

マッチング交付金(旧:一般援助交付金)

交付対象事業	未対応の人的ニーズを満たすライオンズの大規模な奉仕事業。交付対象は建設および設備事業。多くの人々に奉仕する事業に限定される。個人的な援助要請は対象外。 少なくとも2~3クラブ(理想的にはそれ以上)が資金調達に関与していること。 キャビネット/協議会の承認が必要。一般的な運営費や諸経費は対象外。
基本的な規定と基準	申請できるのは複合地区または地区のみ。最大交付額:100,000ドル最小申請額:10,000ドル 現地での資金調達の要件: ◇先進国は事業費の50%までを申請できる。現地調達資金のうち少なくとも2分の1はライオンズから集めるものとする。 ◇発展途上国は総事業費の75%までを申請できる。現地調達資金のうち少なくとも2分の1はライオンズから集めるものとする。 現地調達分は現金でなければならない(物品寄付は不可)。 地区/複合地区が同時に実施および/または申請できる交付金事業は2件までとする。
申請書の審査と承認	LCIF職員が予備審査を行う。交付金の審査は年3回、8月・1月・5月のLCIF理事会会議で行われる。 申請期限は理事会会議の90日前まで。交付金はマッチング資金が集まるまで支払われない。 ライオンズが現地マッチング資金を集める期間は交付金承認日から6カ月間。 事業は2年以内に完了する必要がある。

2.災害援助交付金

①緊急援助交付金(地区ガバナーの申請)

交付対象事業	自然災害の被災者に緊急救援物資を提供。 水、食料、衣類、医薬品、毛布、個人的な必需品を配布。 長期的な避難所や再建活動の提供は対象外。 ライオンズが積極的に救援活動に関与する必要がある。
基本的な規定と基準	交付額は災害の規模に応じて5,000ドル~10,000ドル。 被災地域の地区ガバナーが災害発生から30日以内に申請する。 地区は被害の程度、現地でのニーズを説明し、救援物資を配布するための行動計画を立てる必要がある。 1地区、災害1件につき、交付金1件まで。
申請書の審査と承認	LCIFが必要なあらゆる情報を入手することを条件に、交付金は通常24時間以内に承認される。 交付金申請の承認はLCIF理事長が行う。過去に交付された緊急援助金か地域復興交付金で最終報告未提出のものがある場合は、提出されるまで新規の交付金は検討の対象とならない。

②地域復興交付金(地区ガバナーの申請)

交付対象事業	緊急対応が終わった後の段階。ガレキ撤去のための機材や消耗品。 住宅群や一部公共機関の小規模な修繕や改修のための機材や消耗品。 献血活動や仮設の移動式眼科診療所などの提供。建設事業は不可。
基本的な規定と基準	災害発生から60日以内に、地区が申請できる。6カ月に交付金1件まで。最高交付額は20,000ドル。 地区は60日以内に資金を使用する。 上限は年間US\$250,0000。 ライオンズは緊急、援助交付金か地域復興援助交付金のいずれかを選択するものとし、併用は認められない。
申請書の審査と承認	職員が予備審査を行う。交付金の申請は、LCIF理事長によって順次承認される。 過去に交付された緊急援助金か地域復興交付金で最終報告未提出のものがある場合は、提出されるまで新規の交付金は検討の対象とならない。

③防災準備交付金(地区ガバナーの申請)

交付対象事業	災害・緊急事態に備えるためのライオンズを対象とした研修・訓練や活動。 救援物資の備蓄。防災セットの準備。地域社会に防災を促す啓発・普及活動。 緊急救援隊、フードバンク、医療施設や避難所に対する事前の支援(物資や用具)。
基本的な規定と基準	地区は2年に一度、5,000ドル~15,000ドルを申請できる。申請額の10%をライオンズが負担。 プログラムには年間250,000ドルの上限が設定されている。 災害発生前に申請しなければならない。被災中は不可。地区は6カ月以内に資金を使用する。
申請書の審査と承認	職員が予備審査を行う。交付金の申請は、LCIF理事長によって順次承認される。 過去に交付された防災準備交付金で最終報告未提出のものがある場合は、提出されるまで新規の交付金は検討の対象とならない。

④大災害援助交付金(MCAT)及び指定災害援助交付金

交付対象事業	大規模な自然災害または人為災害の発生時(多数の死者と広範囲の被害が生じた場合)の救援活動に資金を提供。 対象には緊急救援活動や長期再建事業も含まれる。
基本的な規定と基準	交付額は50,000ドル以上。プログラムには年間100万ドルの上限が設定されている。
申請書の審査と承認	ライオンズや地区/複合地区は申請できない。 交付金は国際会長とLCIF理事長、250,000ドルを超える場合にはLCIF執行委員会によって承認される。

マッチング交付金※

交付対象事業	より長期的な復興事業に関しては、マッチング交付金を申請できる。 重要な公共サービスや公共施設(学校、診療所、高齢者センターなど)の再建が優先される。
基本的な規定と基準	(※)他のマッチング交付金と同様(最大100,000ドル、地区または複合地区によるマッチング資金が必要)。
申請書の審査と承認	(※)他のマッチング交付金と同様。

3.視力ファースト交付金

交付対象事業	今日のあらゆる眼病の予防・診断・治療を行うとともに、回復不能な失明や弱視に苦しむ人々にリハビリを提供する総合眼科医療システム構築の支援を対象とする。 経済的、社会的、地理的障壁のために眼科医療・教育・リハビリへのアクセスを阻まれ、十分な眼科医療を受けていない人々の援助を優先する。 公平で質の高い眼科医療とリハビリを提供する。 既存のインフラの改善と現地の人員の育成を通して費用対効果の高い眼科医療を実現し、持続可能な眼科医療システムを構築する。 失明予防に関して設定された国内の優先事項に適合していること。
基本的な規定と基準	地区または複合地区が申請できる。 交付金の上限は設定されていないが、費用対効果は極めて重要な基準である。 ハイテクで高額な機材のための申請には50%のマッチング(現地調達)資金が必要となる。 その他の事業費では具体的なマッチングの要件はないが、現地調達資金や他に共同出資者のある事業が優先される。
申請書の審査と承認	事業はライオンズと他の現地パートナーの間で立案される。 妥当な場合には、複合地区または地区視力ファースト委員会が立案を支援する。 LCIFに提出する前に地域の技術顧問による審査が必要。 申請書は職員およびWHOの予備審査を受ける。(30万ドル) 書き直し・再提出も多々ある。最終審査は視力ファースト諮問委員会が行う(会議は1月と8月)。

4.ライオンズクエスト交付金

①プログラム拡大交付金

交付対象事業	ライオンズクエスト・プログラムに関する大規模な活動または拡大。 対象となる活動としては、ライオンズクエスト教員の研修ワークショップ、ワークショップのカリキュラムや資料、講師費用、講師育成(TOT)、中核教材の翻訳編さん、プログラムに関する評価や研究などが挙げられる。
基本的な規定と基準	地区または複合地区が申請できる。 最大交付額は、地区に対しては最大50,000ドル、複合地区(または地区編成状況にかかわらず単一国)に対しては最大150,000ドル。 ライオンズクエスト交付金では総事業費の75%までを提供(3:1のマッチング資金)。 25%は現地マッチング資金としてライオンズが拠出する。 地区/複合地区が一度に受けられるのは交付金1件のみ。
申請書の審査と承認	LCIF職員が予備審査を行う。 交付金の審査と承認は、年2回のライオンズクエスト諮問委員会会議で、8月と1月に行われる。 申請期限は会議の90日前まで。 ライオンズによる現地マッチング資金は事業の期間中にも調達可能。 事業は2年以内に完了する必要がある。

②普及促進交付金

交付対象事業	ライオンズ、地域住民、および/または教育者を対象とした説明会やその他の普及活動に使用される。
基本的な規定と基準	地区または複合地区が申請できる。 マッチング資金は不要。最大交付額は1,500ドル。 1会計年度に受けられる交付金は地区1件、複合地区2件まで。
申請書の審査と承認	申請書は順次受け付ける。職員が予備審査を行う。交付金はLCIF理事長によって承認される。

③地域パートナーシップ交付金

交付対象事業	ライオンズクエストのパイロット実施または拡大活動。 対象となる活動としては、ライオンズクエスト教員の研修ワークショップ、ワークショップのカリキュラムや資料、講師費用、講師育成(TOT)、中核教材の翻訳編さん、プログラムに関する評価や研究などが挙げられる。
基本的な規定と基準	地区または複合地区が申請できる。マッチング資金は不要。 最大交付額は15,000ドル。 1会計年度に受けられる交付金は地区1件、複合地区2件まで
申請書の審査と承認	申請書は順次受け付ける。職員が予備審査を行う。交付金はLCIF理事長によって承認される。

5.レオ奉仕交付金

交付対象事業	レオクラブが企画、立案、実施する堆域社会奉仕事業。 重要な人道的ニーズに応え、奉仕する地域社会においてレオの存在を際立たせる事業が対象。 糖尿病、小児がん、視力、食料支援、環境保全を主眼とした事業を優先。 2年間のパイロット・プログラムはさらに2年間延長された。
基本的な規定と基準	地区または複合地区が申請できる。マッチング資金は不要。 プログラムには年間200,000ドルの上限が設定されている。 地区につき最大2,500ドル。複合地区につき最大5,000ドル。 パイロット交付金の提供は複合地区または地区につき年に1件。 レオは6カ月以内に事業を完了させる。
申請書の審査と承認	申請書は年間を通して提出できるが、事業開始の少なくとも6週間前までに提出する。 内部委員会が審査を行い、LCIF理事長が最終的に承認する。

6.糖尿病交付金

交付対象事業	糖尿病交付金は、総合的なフォローアップ治療計画を伴うスクリーニング検査、既存の糖尿病キャンプやリトリートの拡充、患者のアクセスや医療従事者の研修を強化するための既存医療施設の拡張などに充てられる。
基本的な規定と基準	地区または複合地区が申請できる。 最大交付額は、地区に対しては最大150,000ドル、複合地区に対しては最大250,000ドル。 最小申請額は10,000ドルとする。 糖尿病交付金では総事業費の75%までを提供。 予算の25%に相当する現地マッチング資金を現金で調達する必要があり、うち2分の1以上はライオンズの現金寄付によるものとする。 一度に受けられる交付金は、地区2件、複合地区1件まで。 ライオンズ、現地の糖尿病・保健専門家、その他の主な事業関係者で構成される運営委員会の設置が必要。
申請書の審査と承認	糖尿病交付金の審査は年3回、8月・1月・5月のLCIF理事会会議で行われる。 技術顧問による評価。申請期限はLCIF理事会会議の90日前まで。 ライオンズによる現地マッチング資金は事業の期間中に調達可能。

7.食料支援交付金(子供食堂)

交付対象事業	インフラ開発や設備取得など、飢餓の緩和を主眼としたライオンズの大規模な事業に充てられる。 例としては、フードバンク、食料配給施設、学校給食設備、冷蔵庫、冷凍庫、キッチン用品、車両などが挙げられる。 食品、土地の購入、または個人への援助に使うことは不可。 少なくとも2~3クラブ（理想的にはそれ以上）が資金調達に関与していること。キャビネットの承認が必要。
基本的な規定と基準	地区のみが申請できる。最大交付額:100,000ドル最小申請額:10,000ドル 現地での資金調達の要件:◇すべての国で、事業費全体の75%までを申請できる。 現地調達は現金でなければならない(物品寄付は不可)。 地区が同時に実施および/または申請できる交付金事業は1件までとする。
申請書の審査と承認	LCIF職員が予備審査を行う。交付金の審査は年3回、8月・1月・5月のLCIF理事会会議で行われる。 申請期限は理事会会議の90日前まで。 交付金はマッチング資金が集まるまで支払われない。 ライオンズが現地マッチング資金を集める期間は交付金承認日から6カ月間。 事業は2年以内に完了する必要がある。

8.小児がん交付金

交付対象事業	小児がん患者とその家族の暮らしを改善するライオンズの大規模な奉仕事業。 例としては、医療施設の待合室の建設/拡張、治療中に家族が宿泊できる施設の建設/拡張、治療施設との往復を容易にする事業、治療中の患者が必要とする教育やリクリエーションを提供する事業などが挙げられる。 直接治療を提供するための医療機器やインフラに使うことは不可。 事業は、既存の公立または慈善小児がん医療施設と協力して実施しなければならない。 少なくとも2~3クラブ（理想的にはそれ以上）が資金調達に関与していること。 キャビネット/協議会の承認が必要。
基本的な規定と基準	複合地区または地区が申請できる。 最大交付金額:150,000ドル最小申請金額:10,000ドル 現地での資金調達の要件:◇先進国では、事業費全体の50%までを申請できる。 ◇途上国では、事業費全体の75%までを申請できる。 現地調達は現金でなければならない(物品寄付は不可)。 地区/複合地区が同時に実施および/または申請できる交付金事業は1件までとする。
申請書の審査と承認	LCIF職員が予備審査を行う。 交付金の審査は年3回、8月・1月・5月のLCIF理事会会議で行われる。 申請期限は理事会会議の90日前まで。 交付金はマッチング資金が集まるまで支払われない。 ライオンズが現地マッチング資金を集める期間は交付金承認日から6カ月間。 事業は2年以内に完了する必要がある。

9.地区及びクラブシェアリング交付金

交付対象事業	地区とクラブの両方を対象としたプログラムで、LCIFに対する用途無指定の寄付額が一定の金額に達すると、その金額の15%を利用できるようになる。 資格を満たした地区とクラブが資金を利用するにはLCIFに申請する必要があり、事業案を提出して資金の用途を説明しなければならない。 今年度内に蓄積した資金は翌年度に利用できる。 資金は現地での奉仕事業に役立てるか、他のLCIF交付金プログラムへのマッチング資金に充てることができる。 LCIF寄付者サービス課が毎年度の初めに、地区とクラブにその申請資格について通知する。
基本的な規定と基準	地区とクラブが寄付額の15%を利用するには、一定金額以上の寄付を行う必要がある。 ◇地区の最低寄付額は年間10,000ドル。◇クラブの最低寄付額は年間5,000ドル。 地区とクラブは、寄付額を15年にわたって蓄積することができる。 15年の間に資金が利用されなかった場合には、蓄積額は順次期限切れとなり、LCIFの資金に繰り入れられる。
申請書の審査と承認	申請書は処理に要する時間を見込んで、事業開始の90日前までにLCIFに提出する。